

## 2017年事業報告

ディスレクシアに関する認知度はNHKの発達障害の啓発キャンペーン、OTON GLASSの開発などを通して相当高まる兆しが見えてきた。

エッジとしては認定NPOになったことが大きい。従来の活動に加え4月にチャリティー絵画展、10月にAPDFを東京で開催した。また、2020年に向けて中期計画の策定と実施に取り掛った。

認定NPO 柴田、根川

9月14日に認定NPOの認証を受ける。(損保ジャパン助成)

寄付 柴田⇒ 全理事

3000円以上) DX パートナース 20、DX セミナー4、大口 (30000 以上) 8、相談4、一般94

3000円以下) DX セミナー13、一般8、理事・監事とその他)30

合計181件 総額3,606,569円

広報 柴田、三橋、

パンフレット作製4種、ニュースレター3号発行、ウェブサイト、FB、ブログなど(年間)、メルマガ12+号外7

DX セミナー 柴田、藤堂

基本的なディスレクシアの知識と支援について学ぶセミナーを開催

実施月 1⑤,3⑨,4⑧,5④,6④,7⑩,8⑨,9⑥,11④,12⑦

英語についてのセッションを一回行った

DX 会 柴田、村松

成人ディスレクシアの会は奇数月は夜間、偶数月は昼間に開催している

昼 2③「ディスレクシアでも活躍できる」の出版記念シンポ、

4⑤銀座、6⑤埼玉県・三芳町、8③神奈川県・広沢寺温泉、10⑤杉並区立和田堀公園、12⑦井之頭公園

チャリティー絵画展 藤堂栄子・藤堂亜美

2017年4月25日(火)～4月30日(日) 入場無料

会場：セントラルミュージアム銀座

来場者 1000名以上、絵画、グッズの売り上げ 40万円

APDF2017 藤堂、藤堂亜美、全理事監事参加

10月21日、22日規模を縮小（500万ほぼ予算通り）東京にて  
日本財団、国際交流基金より助成金 計 250万

両日で約 400名、アジアはシンガポール、タイ、マレーシア、ベトナム  
香港などから招へい、インド、シンガポール、インドネシア、ベトナム、  
イギリス、など国内外から講師の参加があった。

LSA 藤堂、辛島

入門 163名、本コース東京 21名、地方計 74名

星槎大学エクステンションセンターの資格認定講座の一部⇒2018年度へ 持ち越し  
フォローアップ講座、LSA 同窓会⇒辛島さん

BEAM 上田

教科書を音声化して無償提供をしている

エッジでは個人が中心。文科省から委託（400万円）

学校単位の申し込みあり、教育委員会単位の問い合わせあり

MOOC コース 上田、小林

「大規模公開オンライン講座（教育）」で読み書きの困難がある児童生徒 への支援  
のコースを①英語のものを日本語化、②日本語について新たに 作成して無料で受講  
が可能になる

日本財団助成事業（800万円）

日本語のコンテンツ作成に着手

2016年度については期日を延長して 2018年3月までに終える見込み

K&T 藤堂(亜)

英語のジョリーフォニックスのセッションを山下桂世子先生により開催  
ディスレクシアの児童生徒が英語を楽に楽しく学んでいる

4月、8月、12月 生徒 38名、大人 24名

5月、6月、7月、9月、10月、11月に丸山敦子氏と藤堂亜美で講座

ショップ ハートふえるとプロダクツ、本などを販売

アマゾンのアフィリエイト